

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ） 文部科学省（日本）

ESD 世界会議 愛知・名古屋で開幕 （仮訳）

11月10日、愛知・名古屋：ユネスコ事務局長と文部科学大臣は、「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」を開会しました。前週の岡山でのステークホルダー会議に続いて開かれた同会議の開会式には、皇太子同妃両殿下の御臨席を賜りました。

ユネスコのイリナ・ボコバ事務局長は挨拶の中で、「技術、政策、経済的なインセンティブだけでは、持続可能な開発を達成することはできません。私たちは、個人としても社会全体としても、ものの考え方や行動様式を変えていく必要があります。それこそが持続可能な開発のための教育（ESD）の目指すところなのです。」と述べました。

下村博文 文部科学大臣は「本会議は、これまでの10年間を総括し、今後のESDの推進について議論する非常に重要な会議です。本会議での議論が、今後のESDの推進を加速させ、これからの世界の教育の在り方に一石を投じるものとなれば幸いです。」と述べました。

下村大臣はまた、「ユネスコ／日本 ESD 賞」の創設を発表しました。この賞は、「国連 ESD の 10 年」（2005-2014）のフォローアップである「ESD に関するグローバル・アクション・プログラム」（GAP）のレジリエンスを高め、次の5年間（2015-2019）、顕著な功績のあった個人や団体に奨励金を授与するものです。毎年、GAPの五つの優先行動分野の一つ以上において、ESDの推進に顕著な貢献のあった3受賞者に対して、それぞれ5万ドルの奨励金が授与されます。

「持続可能な未来に向けて今学ぶ」という旗印の下、この10年間の成果を祝うために1,000人以上の参加者が集まりました。その中には、75名の閣僚級、モロッコのララ・ハスナ王女（モハメッド6世環境保護基金総裁）、ユネスコ加盟国の政府代表、NGO、大学関係者、民間部門、国連機関、専門家、若者等が含まれます。

「開会全体会合」で、ユネスコは「国連 ESD の 10 年」を締めくくる最終報告書「我々が望む未来に向けて」を発表しました。同報告書は、教育のあらゆるレベルと領域でESDのインパクトを評価し、将来の活動に向けた主要な教訓をまとめています。加盟国や国連機関、その他ステークホルダーが質問票に対して答えた情報に加え、広範囲にわたる調査研究に基づいたものです。

報告書には、10項目にわたる所見が特定されています。例えば、教育が社会を持続可能な発展に向けて動かそうとする重要なツールであると、世界的に認識が高まっていることです。カナダのマニトバ州からモーリシャス共和国に至るあらゆる国や管轄区において、教育は、現在そして今後世界が直面する社会、環境及び経済的課題に対してより関

連性の高いものになってきました。また、報告書では、質問票に回答があった国々の3分の2には国家的なESD戦略や計画が既に存在し、半数の国々では関連する政策にESDが盛り込まれているとしています。

報告書には顕著な課題の一つとして、教育が持続可能な開発の目標を支持し、またそれとともに持続可能な開発に関する政策立案者が教育を支援するようにするために、持続可能な開発と教育を提携させる必要があるということが明記されています。また、これまでのような環境を整備することから、教育のあらゆるレベルにおいてカリキュラムや教育者の実践に実際に変化をもたらすよう移行するためには、広範囲に及ぶ顕在的な息の長い政治的支援が必要となるとされています。報告書は、政府及びその他ステークホルダーに対し、更なる持続可能な未来に向けて活動をスケールアップするよう求めています。

「開会全体会合」のあと、ボコバ事務局長と下村大臣は、閣僚級による「ESDに関するハイレベル円卓会議」の共同議長を務めました。3日間の会期中、4回の全体会合、34のワークショップ、25のサイドイベントが催されるほか、42の展示ブースが設置されています。この機会を利用し、ステークホルダーやパートナーは、各々の活動を紹介したり、ESDの特定の課題について議論したり、世界中の先進的成功事例を共有します。3日目の「閉会全体会合」では、10年の成果や本会議及び前週の岡山でのステークホルダー会合での審議を踏まえて取りまとめられる「あいち・なごや宣言」が採択される予定です。

愛知・名古屋でのESD世界会議は、ユネスコと日本政府の共催で開催するものです。

詳しくはこちらを御覧ください。

「ESDに関するユネスコ世界会議」(ユネスコのウェブサイト)
<http://www.unesco.org/new/jp/unesco-world-conference-on-esd-2014/>

<問合せ先> ユネスコ 斎藤 珠里
Tel : +33 6 19 99 57 75 (フランス)
+81 80 5492 3175 (日本 11月10~13日)
Email : j.saito@unesco.org

文部科学省国際統括官付
国際統括官補佐 本村 宏明
専門職 小野 憲一
Tel: +81 3 6734-4956
Mobile: +81 90 8964 2560 (11月10~12日)
Email: jpnatcom@mext.go.jp